

鉄路での復活！宮古～釜石間！

多くの「仲間」が実践し成し遂げた成果を確認しよう！！

山田線(宮古駅～釜石駅間)の三陸鉄道(株)への移管及び 運転再開を迎えて

東日本大震災から8年が経過した2019年3月23日、山田線の宮古駅～釜石駅間が三陸鉄道(株)へ移管し、地域のみなさんの喜びの声に包まれた中で運転再開した。移管及び運転再開に尽力された全ての組合員、関係者に敬意を表するものである。

2011年3月11日の大津波によって、山田線の駅舎やレールは流失した。幸いにも乗客と乗務員は、駅で働く関係者や乗客との連携によって避難することができたが、「この世の光景ではない」との言葉に象徴されるように被害は甚大であった。

J R 東 労 組 は 全 国 の 仲 間 と ボ ラ ン テ ィ ア 運 動 を 展 開 し、その数は延べ1万5千人を数えた。そして創り出された信頼を基礎に地域のみなさんと取り組んだ「東日本大震災により被災したJ R 各線の早期復旧を求める署名」は40万7664筆を集約し、国土交通大臣及び復興大臣に提出することができた。震災当初から地域の方々へ寄り添い、時には人力作業で手を取り合い、時には炊き出しや「春のプレゼント」等で心を通わせたことを通じて、競争社会の中で生きる私たちは、人と人が助け合う大切さを学んでいくことができた。

現在、多くの組合員・社員が三陸鉄道(株)に出向し、J R 東 日 本 会 社 の 支 援 策 の 一 つ で あ る 人 的 支 援 を 担 っ て い る。三陸鉄道(株)への移管と運行再開に終わらせることなく、「復興の象徴」として地域の活性化と利便性の向上への期待に応えていくために人的支援を担う組合員・社員を支え、そして共に歩みながらJ R 東 日 本 と し て の 責 務 を 果 た し て い かな け れ ば な ら ない。J R 東 労 組 は、人的支援を担う組合員・社員と共に、これまで同様に地域に寄り添い、自分たちができることを一つひとつ進めていく。

いま社会は技術のめまぐるしい発達に併せ、人口減少への突入と相次ぐ自然災害の発生など、大きな時代の変化を迎えている。私たちは現実を直視しつつも、運転再開に多くの方々が喜びの声を上げてくれたように、鉄路は地域への希望を与え、地域と地域、人と人とを繋いでいることを一時も忘れることなく、希望と繋がり、安全と活気のある鉄路をこれからも全組合員で創造していこう。

移管及び運転再開に尽力された全ての組合員、関係者に感謝し、J R 東 労 組 盛 岡 地 方 本 部 と し て の 御 礼 と す る。

2019年3月25日
東日本旅客鉄道労働組合
盛岡地方本部執行委員会

